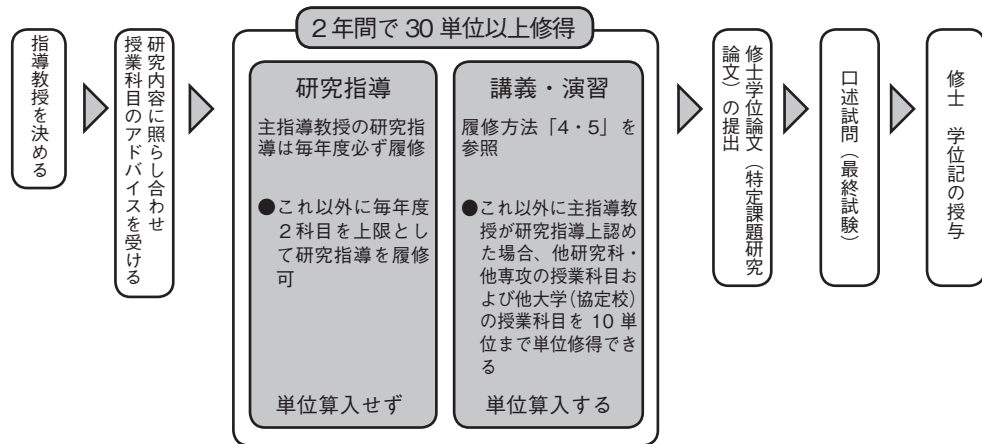


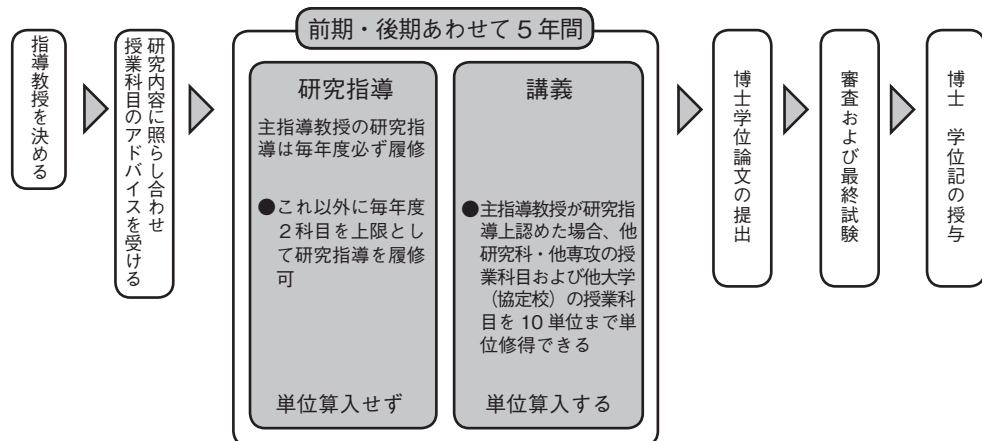
# [社会学研究科]

## 社会学専攻

### 前期課程 履修の流れ



### 後期課程 履修の流れ



# 社会学専攻

## 博士前期課程

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	講座・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
基礎科目	原書講読Ⅰ	現代社会学分野	講義	4	教授	中山 伸 樹	
	原書講読Ⅱ	社会文化共生学分野	講義	4	教授	山本 須美子	
	原書講読Ⅲ	社会情報学分野	講義	4	准教授	鈴木 崇 史	
	社会学特論Ⅰ	社会科学方法論	講義	2	非常勤講師	荒川 敏 彦	半期科目（前期開講）
	社会学特論Ⅱ	情報検索・データベース論	講義	4	教授	栗山 和 子	
	社会学特論Ⅲ	社会調査法	講義	4	客員教授	島崎 哲 彦	
	社会学特論Ⅳ	統計解析および多変量解析	講義	4	非常勤講師（兼任）	大津 起 夫	
	社会学特論Ⅴ	質的調査法1	講義	2	准教授	長津 一 史	半期科目（前期開講）
	社会学特論Ⅵ	質的調査法2	講義	2	准教授	水野 剛 也	半期科目（後期開講）
	社会学特論Ⅶ	現代社会思想論	講義	4			本年度休講（隔年開講）
現代社会学コース科目	社会学特論Ⅷ	現代家族社会学	講義	4	教授	西野 理 子	社会学研究指導Ⅰと共通
	社会学特論Ⅸ	現代文化社会学	講義	4	教授	小林 修 一	社会学研究指導Ⅱと共通
	社会学特論Ⅹ	現代地域社会学	講義	4	教授（兼任）	西澤 晃 彦	
	社会学特論Ⅺ	特別講義	講義	2	非常勤講師	森川 剛 光	集中講義（後期開講）
	社会学演習Ⅰ	現代社会学理論	演習	4	教授	宇都宮 京 子	社会学研究指導Ⅳと共通
	社会学演習Ⅱ	現代組織社会学	演習	4	教授	原山 哲	社会学研究指導Ⅴと共通
	社会学演習Ⅲ	現代犯罪社会学	演習	4	准教授	本田 宏 治	社会学研究指導Ⅵと共通
	社会学演習Ⅳ	現代宗教社会学	演習	4	准教授	高橋 典 史	社会学研究指導Ⅶと共通
	文化人類学特論Ⅰ	社会文化共生論	講義	4	教授	井沢 泰 樹	文化人類学研究指導Ⅳと共通
	文化人類学特論Ⅱ	文化共生史	講義	4	教授	三沢 伸 生	
社会文化共生学コース科目	文化人類学特論Ⅲ	環境共生論	講義	4	教授	小俣 利 男	文化人類学研究指導Ⅰ②と共通
	文化人類学特論Ⅳ	地域共生論	講義	4	教授	小林 正 夫	
	文化人類学特論Ⅴ	社会貢献概論	講義	4			本年度休講
	文化人類学特論Ⅵ	民族誌学	講義	4	准教授	長津 一 史	
	文化人類学特論Ⅶ	文化人類学	講義	4	教授（兼任）	松本 誠 一	
	文化人類学特論Ⅷ	特別講義	講義	2	非常勤講師	鈴木 正 崇	集中講義（後期開講）
	文化人類学特論Ⅸ	社会貢献組織論	講義	4	非常勤講師	谷本 有美子	
	文化人類学演習Ⅰ	社会人類学	演習	4	教授	植野 弘 子	文化人類学研究指導Ⅱと共通
	文化人類学演習Ⅱ	教育人類学	演習	4	教授	山本 須美子	文化人類学研究指導Ⅲと共通
	メディアコミュニケーション学コース科目	社会情報学特論Ⅰ	マス・コミュニケーション論	講義	4	准教授	大谷 奈緒子
社会情報学特論Ⅱ		パブリックリレーションズ論	講義	4	准教授	関谷 直 也	社会情報学研究指導Ⅴと共通
社会情報学特論Ⅲ		社会情報学	講義	4			本年度休講
社会情報学特論Ⅳ		情報学	講義	4			本年度休講
社会情報学特論Ⅴ		特別講義	講義	2			本年度休講
社会情報学演習Ⅰ		マス・コミュニケーション論	演習	4	客員教授	島崎 哲 彦	社会情報学研究指導Ⅰと共通
社会情報学演習Ⅱ		ジャーナリズム論	演習	4	教授	水野 剛 也	社会情報学研究指導Ⅱと共通
社会情報学演習Ⅲ		社会情報学	演習	4	教授	三上 俊 治	社会情報学研究指導Ⅲ①と共通
社会情報学演習Ⅳ		情報学	演習	4	教授	海野 敏	社会情報学研究指導Ⅳと共通

社会学

区分	授業科目・研究指導	サブタイトル	講座・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
現代社会学コース研究指導	社会学研究指導Ⅰ	現代家族社会学			教授	西野理子	
	社会学研究指導Ⅱ	現代文化社会学			教授	小林修一	
	社会学研究指導Ⅲ	現代地域社会学					本年度休講
	社会学研究指導Ⅳ	現代社会学理論			教授	宇都宮京子	
	社会学研究指導Ⅴ	現代組織社会学			教授	原山哲	
	社会学研究指導Ⅵ	現代犯罪社会学			准教授	本田宏治	
	社会学研究指導Ⅶ	現代宗教社会学			准教授	高橋典史	
社会文化共生学コース研究指導	文化人類学研究指導Ⅰ①	社会貢献概論			教授	青木辰司	
	文化人類学研究指導Ⅰ②	環境共生論			教授	小俣利男	
	文化人類学研究指導Ⅱ	社会人類学			教授	植野弘子	
	文化人類学研究指導Ⅲ	教育人類学			教授	山本須美子	
	文化人類学研究指導Ⅳ	社会文化共生論			教授	井沢泰樹	
メディアコミュニケーション学コース研究指導	社会情報学研究指導Ⅰ	マス・コミュニケーション論			客員教授	島崎哲彦	
	社会情報学研究指導Ⅱ	ジャーナリズム論			教授	水野剛也	
	社会情報学研究指導Ⅲ①	社会情報学			教授	三上俊治	
	社会情報学研究指導Ⅲ②	社会情報学					本年度休講
	社会情報学研究指導Ⅳ	情報学			教授	海野敏	
	社会情報学研究指導Ⅴ	パブリックリレーションズ論			准教授	関谷直也	

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
  - 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。
  - 主指導教授の「研究指導」は、**毎年度必ず履修すること。**
  - 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、**在学中2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる（「研究指導」と共通して開講されているもので、1科目のみが対象となる）。**  
**3回目以降（原級した場合等）の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。**
  - 上記4.以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、**修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。**したがって、2回目以降の履修・聴講は、「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
  - 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。**修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 専門社会調査士の資格取得希望者は、P.90～91を参照のうえ、不明な点があれば、2013年度本学連絡責任者の水野剛也准教授または大学院教務課窓口**に必ず相談のこと。**

# 社会学研究科 社会学専攻・社会心理学専攻

## 専門社会調査士資格の取得について

この資格は、下記の条件を満たした者について、一般社団法人 社会調査協会（以下「社会調査協会」と略）に申請し、社会調査協会が認定します。

### ■資格申請のための要件

#### (1) 「社会調査士資格」を有すること。

ただし、社会調査士資格を有していない場合であっても、社会調査士標準カリキュラムに対応する科目を単位取得していれば、専門社会調査士資格を取得する際、同時に申請することができる。（この場合、以下「E」・「F」科目は選択制、「G」科目は不要。）

また、所定の手続（「許可願」を提出）を行うことによって、社会学部の「社会調査士科目」を履修することができる。詳細は掲示で確認すること。

※希望する曜時限の科目が以下のような場合は、履修できないか、別の曜時限の同一科目に変更することもある。

- ・学部生の抽選対象科目となった場合
- ・社会学部生で上限数（PC台数・適正人数）を超えた科目の場合

（抽選対象または上限数を超える科目は、在校生のその年の希望状況により変わる可能性があるので注意。）

#### 社会調査士標準カリキュラム（2013（平成25）年度社会学部開講科目）

- |  |   |                    |
|--|---|--------------------|
| (A) 社会調査入門Ⅰ（第1部・第2部とも）                       | ] | (A)・(B) 科目はセット履修   |
| (B) 社会調査入門Ⅱ（第1部・第2部とも）                       |   |                    |
| (C) 統計情報処理および実習Ⅰ（第1部）または<br>統計情報処理および実習（第2部） |   |                    |
| (D) 社会統計学（第1部・第2部とも）                         |   |                    |
| (E) 社会統計解析法（第1部・第2部とも）                       | ] | (E)・(F) 科目はいずれかを選択 |
| (F) 質的調査法（第1部・第2部とも）                         |   |                    |
| (G) 社会調査および実習（第1部・第2部とも）                     |   | (G) 科目は同時申請する場合は不要 |

#### (2) 2007（平成19）年度以降開講の、以下の専門社会調査士科目「4科目」（12単位）を履修し、かつ単位を取得すること。

※ 2006（平成18）年度以前に開講された科目を取得していても、科目認定を受けていないため、本資格のための科目には該当しない。

#### ①社会学専攻の場合【いずれも、2007（平成19）年度以降開講科目を履修・取得すること】

- |              |      |
|--------------|------|
| (H) 社会学特論Ⅲ   | 4 単位 |
| (I) 社会学特論Ⅳ   | 4 単位 |
| (J) [ 社会学特論Ⅴ | 2 単位 |
| 社会学特論Ⅵ       | 2 単位 |

#### ②社会心理学専攻の場合【いずれも、2007（平成19）年度以降開講科目を履修・取得すること】

- |                 |      |
|-----------------|------|
| (H) 社会心理学研究法Ⅱ   | 4 単位 |
| (I) 社会心理学研究法Ⅲ   | 4 単位 |
| (J) [ 社会心理学研究法Ⅳ | 2 単位 |
| 社会心理学研究法Ⅴ       | 2 単位 |

#### (3) 社会調査結果を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること。

- ・ここで言う社会調査とは、定量調査あるいは定性調査を指し、他者の調査したデータの二次的利用は含まない。
- ・定性調査には、内容分析、聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、フィールドワーク、インタビュー、ライフヒストリー分析、会話分析などを含む。
- ・修士論文以外の研究論文とは、原則として学術団体の学会誌に、査読を経て掲載された研究論文を指す。
- ・申請時には、研究論文（修士論文を含む）2部（同じものを2部）の提出が必要。

(4) 必要書類等を整え、大学院教務課に提出（大学院教務課が一括して社会調査協会に申請する）。

「申請書類・提出方法・提出期間」の詳細については、2014年1月頃大学院教務課の掲示で確認してください。

(5) 申請に必要な書類

- |                        |   |     |
|------------------------|---|-----|
| ① 専門社会調査士認定申請書         | } | ※ 2 |
| ② 履歴書                  |   |     |
| ③ 研究論文概要説明書（修士論文を含む）   |   |     |
| ④ 研究論文（修士論文を含む）同じものを2部 |   |     |
| ⑤ 単位取得・修士修了を証明する書類     |   | ※ 3 |
| ⑥ 手数料振り込み後の払込受領証のコピー   |   | ※ 4 |

※ 1 社会調査士と同時に申請する場合は、上記書類のほかに「社会調査士認定申請書」、「大学での単位取得・卒業を証明する書類」が必要となります。

詳しくは、社会調査協会のホームページ、または2014年1月頃大学院教務課の掲示で確認してください。  
社会調査協会のホームページアドレスは次のとおり。

<http://jasr.or.jp/>

※ 2 ①～③の書類のフォームは、社会調査協会のホームページよりダウンロードしてください。

※ 3 ⑤は本学で入手してください。

※ 4 ⑥は大学院教務課で配布する振込用紙を使用して、申請者本人が手数料を振り込み、振込受領書のコピーを提出してください。手数料は以下のとおり。

社会調査士資格を取得している学生：31,500円      社会調査士資格を取得していない学生：42,000円

(いずれも2012年度参考)

# 社会学研究科社会学専攻博士前期課程

## 特定課題研究論文について

本専攻では、修士学位論文または特定課題研究論文の提出を認めています。

『特定課題研究論文』とは、「特定の課題について、実践的に調査・研究した論文」をいいます。

1. 特定課題研究論文は、12,000字以上を3本提出とする。
2. 修士学位論文または特定課題研究論文については、原則として入学時に選択する(2年次の7月末まで変更を認める)。
3. 博士後期課程進学希望者は、修士学位論文を選択すること。
4. 3本まとめたものの提出にあたっては、提出時期・様式とも修士学位論文に準ずる。

題目届提出締切日	論文提出時期 (3本まとめたもの)	提出先
2013(平成25)年4月20日(土)	修士学位論文提出時期に同じ	大学院教務課

※1・2・3本目のそれぞれの提出時期は、主指導教授の指示を受け、適宜主・副指導教授に直接提出すること。

## 博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
社会学特殊研究Ⅰ	講義	4	教授	宇都宮京子	社会学研究指導Ⅰと共通
社会学特殊研究Ⅱ	講義	4	教授	原山哲	社会学研究指導Ⅳと共通
社会学特殊研究Ⅲ	講義	4	教授	西澤晃彦	社会学研究指導Ⅴと共通
社会学特殊研究Ⅳ	講義	4			本年度休講
社会学特殊研究Ⅴ	講義	4			本年度休講
文化人類学特殊研究	講義	4	教授	植野弘子	文化人類学研究指導と共通
社会情報学特殊研究Ⅰ	講義	4	教授	三上俊治	社会情報学研究指導Ⅰと共通
社会情報学特殊研究Ⅱ	講義	4	客員教授	島崎哲彦	社会情報学研究指導Ⅱと共通
社会情報学特殊研究Ⅲ	講義	4			本年度休講
社会学研究指導Ⅰ			教授	宇都宮京子	
社会学研究指導Ⅱ					本年度休講
社会学研究指導Ⅲ					本年度休講
社会学研究指導Ⅳ			教授	原山哲	
社会学研究指導Ⅴ			教授	西澤晃彦	
文化人類学研究指導			教授	植野弘子	
社会情報学研究指導Ⅰ			教授	三上俊治	
社会情報学研究指導Ⅱ			教授	島崎哲彦	
社会情報学研究指導Ⅲ					本年度休講

社会学

## 履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
  - 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
  - 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
  - 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。
- 専門社会調査士の資格取得希望者は、P.90～91を参照のうえ、不明な点があれば、2013年度本学連絡責任者の水野剛也准教授または大学院教務課窓口に必ず相談のこと。
- （資格申請のための要件のうち、P.90（2）の科目は、博士前期課程開講科目のため、「自由聴講」として履修・単位修得することができる。）

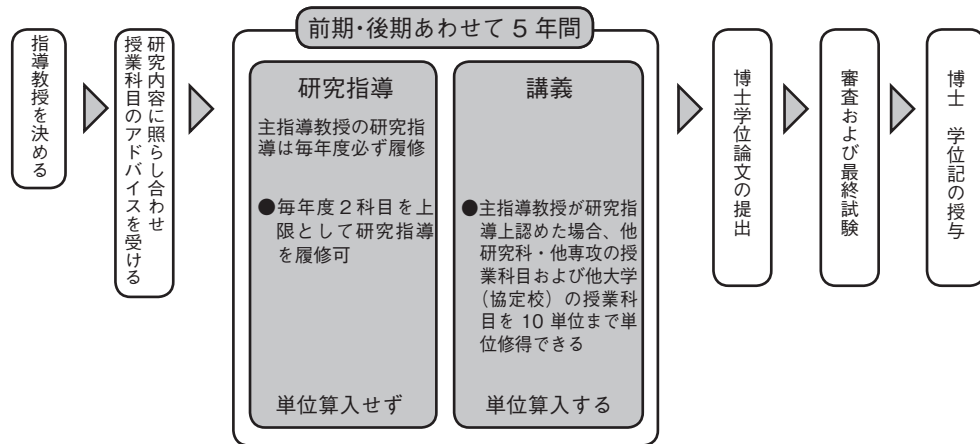




# 社会福祉学専攻 [2005年度入学まで]

後期課程

履修の流れ



博士後期課程

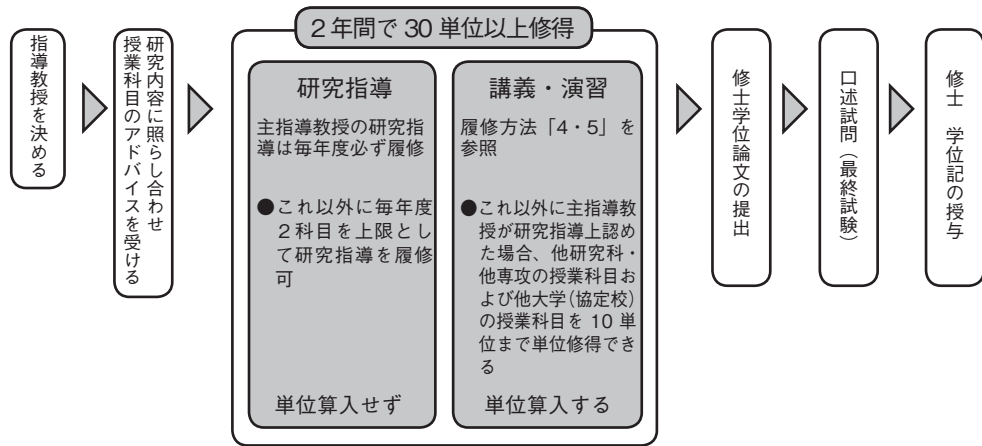
授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
社会福祉学特殊研究Ⅰ (社会福祉原理論研究)	講義	4			本年度休講
社会福祉学特殊研究Ⅱ (社会福祉政策論研究)	講義	4			本年度休講
社会福祉学特殊研究Ⅲ (社会保障論研究)	講義	4	教授(兼担)	秋元美世	社会福祉学研究指導Ⅲと共通
社会福祉学特殊研究Ⅳ (社会福祉行財政論研究)	講義	4	教授(兼担)	小林良二	社会福祉学研究指導Ⅳと共通
社会福祉学特殊研究Ⅴ (医療社会政策論研究)	講義	4	非常勤講師(兼担)	片平洌彦	
社会福祉学特殊研究Ⅵ (比較社会福祉論研究)	講義	4			本年度休講
社会福祉学特殊研究Ⅶ (社会福祉方法論研究)	講義	4	教授(兼担)	佐藤豊道	社会福祉学研究指導Ⅶと共通
社会福祉学特殊研究Ⅷ (児童福祉論研究)	講義	4	教授(兼担)	森田明美	社会福祉学研究指導Ⅷと共通
社会福祉学研究指導Ⅰ					本年度休講
社会福祉学研究指導Ⅱ					本年度休講
社会福祉学研究指導Ⅲ			教授(兼担)	秋元美世	
社会福祉学研究指導Ⅳ			教授(兼担)	小林良二	
社会福祉学研究指導Ⅴ					本年度休講
社会福祉学研究指導Ⅵ					本年度休講
社会福祉学研究指導Ⅶ			教授(兼担)	佐藤豊道	
社会福祉学研究指導Ⅷ			教授(兼担)	森田明美	

履修方法

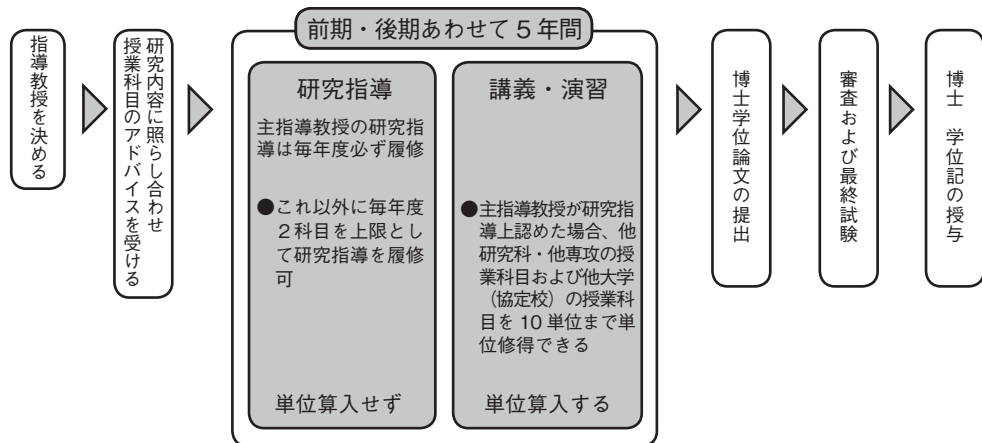
- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 「研究指導」は、年度毎に3科目(主指導教授1名・副指導教授2名)を上限として、履修・単位修得(0単位)することができる(各研究指導は、指定された講義において行う)。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学(協定校)の授業科目を10単位まで単位修得することができる(同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる)。

# 社会心理学専攻

## 前期課程 履修の流れ



## 後期課程 履修の流れ



# 社会心理学専攻

## 博士前期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
基礎社会心理学	講義	2	教授	堀毛一也	半期科目（前期開講）
社会心理学研究法Ⅰ（情報処理）	講義	4	教授	大島尚	社会心理学研究指導Ⅹと共通
社会心理学研究法Ⅱ（調査法）	講義	4	客員教授(兼任)	島崎哲彦	
社会心理学研究法Ⅲ（統計解析および多変量解析）	講義	4	非常勤講師	大津起夫	
社会心理学研究法Ⅳ（質的調査法Ⅰ）	講義	2	准教授(兼任)	長津一史	半期科目（前期開講）
社会心理学研究法Ⅴ（質的調査法Ⅱ）	講義	2	教授(兼任)	水野剛也	半期科目（後期開講）
社会心理学研究法Ⅵ（実験法）	講義	2	教授	杉山憲司	
社会心理学特論Ⅰ（認知）	講義	4			本年度休講
社会心理学特論Ⅱ（対人関係）	講義	4	教授	片山美由紀	社会心理学研究指導Ⅺと共通
社会心理学特論Ⅲ（発達）	講義	4	教授	久保ゆかり	社会心理学研究指導Ⅵと共通
社会心理学特論Ⅳ（適応）	講義	4	非常勤講師	坂本真士	集中講義（前期・後期開講）
社会心理学特論Ⅴ（感情・動機づけ）	講義	4	教授	戸梶亜紀彦	社会心理学研究指導Ⅸと共通
社会心理学特論Ⅵ（身体）	講義	4			本年度休講
社会心理学特論Ⅶ（健康）	講義	4	准教授	加藤司	社会心理学研究指導Ⅻと共通
社会心理学演習Ⅰ（態度）	演習	4	教授	稲木哲郎	社会心理学研究指導Ⅰと共通
社会心理学演習Ⅱ（自己）	演習	4	教授	安藤清志	社会心理学研究指導Ⅲと共通
社会心理学演習Ⅲ（性格）	演習	4	教授	杉山憲司	社会心理学研究指導Ⅴと共通
社会心理学演習Ⅳ（集団過程）	演習	4	教授	堀毛一也	社会心理学研究指導Ⅳと共通
社会心理学演習Ⅴ（裁判・法）	演習	4	教授	黒澤香	社会心理学研究指導Ⅶと共通
社会心理学演習Ⅵ（社会意識）	演習	4	教授	山田一成	社会心理学研究指導Ⅷと共通
社会心理学総合研究①	演習	2	教授	安藤清志	
社会心理学総合研究②	演習	2	教授	大島尚	
社会心理学総合研究③	演習	2			本年度休講
社会心理学総合研究④	演習	2	教授	片山美由紀	
社会心理学総合研究⑤	演習	2	教授	久保ゆかり	
社会心理学総合研究⑥	演習	2	教授	戸梶亜紀彦	
社会心理学総合研究⑦	演習	2			本年度休講
社会心理学総合研究⑧	演習	2	教授	稲木哲郎	
社会心理学総合研究⑨	演習	2	教授	杉山憲司	
社会心理学総合研究⑩	演習	2	教授	堀毛一也	
社会心理学総合研究⑪	演習	2	教授	黒澤香	
社会心理学総合研究⑫	演習	2	教授	山田一成	
社会心理学総合研究⑬	演習	2	准教授	加藤司	
社会心理学研究指導Ⅰ（態度）			教授	稲木哲郎	
社会心理学研究指導Ⅱ（認知）					本年度休講
社会心理学研究指導Ⅲ（自己）			教授	安藤清志	
社会心理学研究指導Ⅳ（集団過程）			教授	堀毛一也	
社会心理学研究指導Ⅴ（性格）			教授	杉山憲司	
社会心理学研究指導Ⅵ（発達）			教授	久保ゆかり	
社会心理学研究指導Ⅶ（裁判・法）			教授	黒澤香	
社会心理学研究指導Ⅷ（社会意識）			教授	山田一成	
社会心理学研究指導Ⅸ（感情・動機づけ）			教授	戸梶亜紀彦	
社会心理学研究指導Ⅹ（情報処理）			教授	大島尚	
社会心理学研究指導Ⅺ（対人関係）			教授	片山美由紀	
社会心理学研究指導Ⅻ（健康）			准教授	加藤司	

### 履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
  - 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義または演習において行う）。
  - 主指導教授の「研究指導」は、**毎年度必ず履修すること。**
  - 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中**2回（8単位）**まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる（「研究指導」と共通して開講されているもので1科目のみが対象となる）。  
**3回目以降**（原級した場合等）の履修・聴講は「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、**修了要件としては扱わない。**
  - 上記4.以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、**修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。**したがって、2回目以降の履修・聴講は、「自由聴講」扱いとなり、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。
  - 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を**10単位まで**単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 専門社会調査士の資格取得希望者は、P.100～101を参照のうえ、不明な点があれば、2013年度本学連絡責任者の水野剛也准教授または大学院教務課窓口にも必ず相談のこと。

## 博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	職名	担当教員	備考
社会心理学特殊研究Ⅰ	講義	4	教授	大島 尚	
社会心理学特殊研究Ⅱ	講義	4			本年度休講
社会心理学特殊研究Ⅲ	講義	4	教授	稲木 哲郎	
社会心理学特殊研究Ⅳ	講義	4	教授	安藤 清志	社会心理学研究指導Ⅱと共通
社会心理学特殊研究Ⅴ	講義	4	教授	杉山 憲司	
社会心理学特殊研究Ⅵ	講義	4	教授	久保 ゆかり	
社会心理学特殊研究Ⅶ	講義	4	教授	堀毛 一也	社会心理学研究指導Ⅲと共通
社会心理学特殊研究Ⅷ	講義	4	教授	戸梶 重紀彦	
社会心理学特殊研究Ⅸ	講義	4	教授	黒澤 香	社会心理学研究指導Ⅳと共通
社会心理学総合研究①	演習	2	教授	大島 尚	
社会心理学総合研究②	演習	2			本年度休講
社会心理学総合研究③	演習	2	教授	稲木 哲郎	
社会心理学総合研究④	演習	2	教授	安藤 清志	
社会心理学総合研究⑤	演習	2	教授	杉山 憲司	
社会心理学総合研究⑥	演習	2	教授	久保 ゆかり	
社会心理学総合研究⑦	演習	2	教授	堀毛 一也	
社会心理学総合研究⑧	演習	2	教授	戸梶 重紀彦	
社会心理学総合研究⑨	演習	2	教授	黒澤 香	
社会心理学研究指導Ⅰ					本年度休講
社会心理学研究指導Ⅱ			教授	安藤 清志	
社会心理学研究指導Ⅲ			教授	堀毛 一也	
社会心理学研究指導Ⅳ			教授	黒澤 香	

### 履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
  - 「研究指導」は、年度毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる（各研究指導は、指定された講義において行う）。
  - 主指導教授の「研究指導」は、毎年度必ず履修すること。
  - 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学その他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。
- 専門社会調査士の資格取得希望者は、P.100～101を参照のうえ、不明な点があれば、2013年度本学連絡責任者の水野剛也准教授または大学院教務課窓口に必ず相談のこと。  
（資格申請のための要件のうち、P.100(2)の科目は、博士前期課程開講科目のため、「自由聴講」として履修・単位修得することができる）。

# 社会学研究科 社会学専攻・社会心理学専攻

## 専門社会調査士資格の取得について

この資格は、下記の条件を満たした者について、一般社団法人 社会調査協会（以下「社会調査協会」と略）に申請し、社会調査協会が認定します。

### ■資格申請のための要件

#### (1) 「社会調査士資格」を有すること。

ただし、社会調査士資格を有していない場合であっても、社会調査士標準カリキュラムに対応する科目を単位取得していれば、専門社会調査士資格を取得する際、同時に申請することができる。（この場合、以下「E」・「F」科目は選択制、「G」科目は不要。）

また、所定の手続（「許可願」を提出）を行うことによって、社会学部の「社会調査士科目」を履修することができる。詳細は掲示で確認すること。

※希望する曜時限の科目が以下のような場合は、履修できないか、別の曜時限の同一科目に変更することもある。

- ・学部生の抽選対象科目となった場合
- ・社会学部生で上限数（PC台数・適正人数）を超えた科目の場合  
（抽選対象または上限数を超える科目は、在校生のその年の希望状況により変わる可能性があるので注意。）

#### 社会調査士標準カリキュラム（2013（平成25）年度社会学部開講科目）

- |  |   |                    |
|--|---|--------------------|
| (A) 社会調査入門Ⅰ（第1部・第2部とも）                       | ] | (A)・(B) 科目はセット履修   |
| (B) 社会調査入門Ⅱ（第1部・第2部とも）                       |   |                    |
| (C) 統計情報処理および実習Ⅰ（第1部）または<br>統計情報処理および実習（第2部） |   |                    |
| (D) 社会統計学（第1部・第2部とも）                         |   |                    |
| (E) 社会統計解析法（第1部・第2部とも）                       | ] | (E)・(F) 科目はいずれかを選択 |
| (F) 質的調査法（第1部・第2部とも）                         |   |                    |
| (G) 社会調査および実習（第1部・第2部とも）                     |   | (G) 科目は同時申請する場合は不要 |

#### (2) 2007（平成19）年度以降開講の、以下の専門社会調査士科目「4科目」（12単位）を履修し、かつ単位を取得すること。

※ 2006（平成18）年度以前に開講された科目を取得していても、科目認定を受けていないため、本資格のための科目には該当しない。

#### ①社会学専攻の場合【いずれも、2007（平成19）年度以降開講科目を履修・取得すること】

- |              |     |
|--------------|-----|
| (H) 社会学特論Ⅲ   | 4単位 |
| (I) 社会学特論Ⅳ   | 4単位 |
| (J) [ 社会学特論Ⅴ | 2単位 |
| 社会学特論Ⅵ       | 2単位 |

#### ②社会心理学専攻の場合【いずれも、2007（平成19）年度以降開講科目を履修・取得すること】

- |                 |     |
|-----------------|-----|
| (H) 社会心理学研究法Ⅱ   | 4単位 |
| (I) 社会心理学研究法Ⅲ   | 4単位 |
| (J) [ 社会心理学研究法Ⅳ | 2単位 |
| 社会心理学研究法Ⅴ       | 2単位 |

#### (3) 社会調査結果を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること。

- ・ここで言う社会調査とは、定量調査あるいは定性調査を指し、他者の調査したデータの二次的利用は含まない。
- ・定性調査には、内容分析、聞き取り調査、参与観察法、ドキュメント分析、フィールドワーク、インタビュー、ライフヒストリー分析、会話分析などを含む。
- ・修士論文以外の研究論文とは、原則として学術団体の学会誌に、査読を経て掲載された研究論文を指す。
- ・申請時には、研究論文（修士論文を含む）2部（同じものを2部）の提出が必要。

(4) 必要書類等を整え、大学院教務課に提出（大学院教務課が一括して社会調査協会に申請する）。

「申請書類・提出方法・提出期間」の詳細については、2014年1月頃大学院教務課の掲示で確認してください。

(5) 申請に必要な書類

- |                        |   |     |
|------------------------|---|-----|
| ① 専門社会調査士認定申請書         | } | ※ 2 |
| ② 履歴書                  |   |     |
| ③ 研究論文概要説明書（修士論文を含む）   |   |     |
| ④ 研究論文（修士論文を含む）同じものを2部 |   |     |
| ⑤ 単位取得・修士修了を証明する書類     |   | ※ 3 |
| ⑥ 手数料振り込み後の払込受領証のコピー   |   | ※ 4 |

※ 1 社会調査士と同時に申請する場合は、上記書類のほかに「社会調査士認定申請書」、「大学での単位取得・卒業を証明する書類」が必要となります。

詳しくは、社会調査協会のホームページ、または2014年1月頃大学院教務課の掲示で確認してください。  
社会調査協会のホームページアドレスは次のとおり。

<http://jasr.or.jp/>

※ 2 ①～③の書類のフォームは、社会調査協会のホームページよりダウンロードしてください。

※ 3 ⑤は本学で入手してください。

※ 4 ⑥は大学院教務課で配付する振込用紙を使用して申請者本人が手数料を振り込み、振込受領書のコピーを提出してください。手数料は以下のとおり。

社会調査士資格を取得している学生：31,500円      社会調査士資格を取得していない学生：42,000円

(いずれも2012年度参考)

